

教会短信

牧師 間瀬 善彦

一年のうち一番過ごしやすいさわやかな初夏の季節になりました。

最近、公的年金の保険料の納付記録が約5千万件分、誰の者かわからなくなっている問題がニュースに取り上げられています。これは少子化で公的年金の存続が危ぶまれている中での報道です。老後の生活に不安を感じた方がたくさんいただろうと思います。私たちは老後の生活設計、そしていかに生きるかということを変更して検討してみなければならぬかもしれません。

私の青年時代を考えますと、自分の健康に不安を持ったことがなく、体力の衰えを感じたことはありませんでした。私の周囲の人も、親戚、知人たちみな健在で、人間の老いという問題を真剣に考えたことはありませんでした。ところで、私もこの年齢になって、自分に近い人びとの死に出会う場面が多くなるに従って、自分自身の老いということについても考えざるを得なくなってきたのです。

今のお年寄りはお元気な方が多くて、何歳からお年寄りと呼んでよいのか分からないくらいです。しかし、気持ち元気であっても、体力は間違いなく衰えてきているというのは否定できないでしょう。体力がしだいに衰え老いが進んでいくなかでも、私たちは生き方次第で老後の人生を豊かに歩むことができるのです。

「信仰によって、わたしたちは、この世界が神の言葉によって創造され、従って見えるものは、目に見えているものからできたのではないことが分かるのです」(聖書ヘブライ人への手紙 11 章)。聖書の中に信仰によって歩んだ人たちのリストが記されています。アブラハム、モーセなど、これらの人たちはみな天の故郷目指して歩みました。

「はるかにそれを見て喜びの声をあげ、自分たちが地上ではよそ者であり、仮住まいの者であることを公に言い表したのです。このように言う人たちは、自分が故郷を探し求めていることを明らかに表しているのです」。故郷と言うと、自分の生まれ故郷のことを思い浮べる人が多いでしょう。自分の生まれ故郷でしたら、いつでも帰りたい時に帰ることができます。しかし、

「彼らは更にまさった故郷、すなわち天の故郷を熱望していたのです」。

あなたの人生はどこに向かって歩もうとしているのでしょうか。私たちはこの地上ではよそ者であり、仮住まいの者です。私たちが真に目指すべき人生の終わりの場所は、天の故郷です。

聖書を学ぶ女性から学んだこと

「持っている者をすべて売り払い、貧しい人々に分けてやりなさい。そうすれば、天に富を積むことになる」（聖書、ルカによる福音書18章22節）。

私はこの聖書の言葉が好きです。若い時にキリスト教を信じるようになってから現在に至るまで、多くのクリスチャンの女性たちと出会いました。その方たちの聖書を学ぶ姿勢と生き様を学ばせていただきました。

ある人は、ご自分の本当の孫でもないのに、他人の孫を本当の孫のように慈しみ育てられました。

ある人は、母親がいなく出産をする若い女性の所に行って、本当の母親のように出産の手伝いをしておられました。

現在、この経堂バプテスト教会の女性たちの中にも、私の学ぶ人が多くいます。

ある人は、ご自分の得意とするものを惜しみなく、教会の人や地域の人々に分けてあげています。

ある人は、ご自分も大変な重荷を抱えながらも、いつもニコニコして色々な品物や食べ物を、他の人に分け与えています。

さて、「持っている者をすべて売り払い……」と聖書に書かれていますが、私は自分が生活をしていくのに、すべて売り払い、貧しい人に分けてあげることはできません。自分には最低限の生活をする分は必要です。しかし、自分が何不自由無く生活して、余った分を分け与えることはしたくはありません。私の母はキリスト教の女学校を卒業していましたので、私の幼い頃から讃美歌を教えてくれ、私の持っている物を人が欲しそうに見ていると、半分分け与えることを教えてくれました。母は大いに人に施しをする人でした。でも、私たち家族は貧しくなるどころか必要な物は備えられてとても豊かでした。神はご自分の独り子、イエス・キリストを私たちの罪のために十字架につけられる程、私たちを愛してくださいました。ですから、私も神の恵みを感謝して自分の必要な物を他の人に分け与えていきたいと思えます。

K. M



5月13日（日） 母の日

間瀬牧師より、日頃の働きを感謝して
祈っていただく女性たち。

【教会歳時記】

キリスト教会のイベントには、クリスマス(降誕祭)、イースター(復活祭)、ペンテコステ(聖霊降臨祭)などがある。今年は、ペンテコステが5月27日主の日(復活祭後50日目)になっている。

教会・キリスト教Q&A

Q : キリスト教とは、クリスチャンということか？

A : その通り。但し、日本では「クリスチャン」というと、プロテスタント(バプテスト教会もこれに属する)の信者をさすことが多い。カトリックの信者は「カトリックです」と言う。しかし、両者ともクリスチャンであることに変わりはない。

Q : 「祈り」とはどんなことか？

A : 祈りとは神と私たち人間との会話であり、家族や友人に話しかけるように、神に向かって話しかけることが祈りです。だから、自分のありのままの気持ちを表わせば良いのです。

教会での基準的な祈りは、キリストが弟子達に教えられた「主の祈り」であり「天の父なる神様」と呼びかけ、感謝、罪の告白、神の赦しを乞い、希いを唱え、「主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」で終わります。「アーメン」とは、「まことにその通りです、神に信頼します」という意味です。

Q : 「救い」とは、どういうことか？

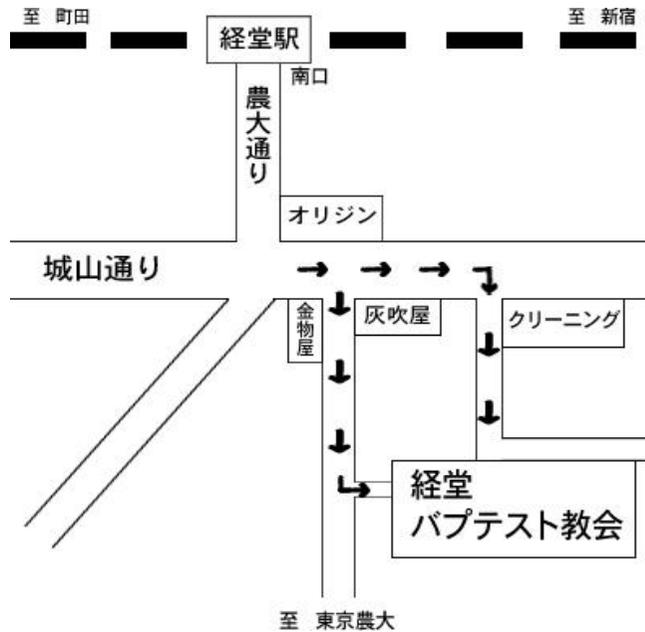
A : クリスチャンの「救い」とは、金持ちになったり、病気が治ったり、悩みがなくなることを指すわけではなく、神の慈しみにより、平安が与えられ、豊かな心が得られ、天国で永遠に生きられるという確信をもつことである。イエスを受け入れ、新たな人生を歩み始めることも「救われた」と言う。

Q : バプテスト教会というのは？

A : バプテストとは、イエス・キリストを主と信じる信仰告白による「バプテスマ」(全身を水に浸す洗礼)に由来する、キリスト教のプロテスタントに属するひとつの教派の名称であり、歴史的には17世紀初頭英国で始まり、その後世界各地に広がり、明治の初期にアメリカ人宣教師によって日本に伝えられ、教会が作られたのが始まりです。バプテスト教会の特徴は、まず聖書を唯一の信仰基準としていることにあり、一人ひとりの信仰告白が教会の基盤となっていることです。そして、互いに尊重し、協力しつつ、神に従う人々の集まりであります。

集会案内

主日礼拝	日曜日	午前 10時30分～11時30分
教会学校	日曜日	午前 11時45分～12時30分
	青年科・成人科	
聖書を学ぶ会	火曜日	午後 1時 ～ 2時
聖書研究・祈禱会	水曜日	午後 7時30分～8時30分
英語教室（英会話）	金曜日	午後 7時 ～ 8時30分



経堂バプテスト教会

牧師 間瀬 善彦

〒156-0053 世田谷区桜1-64-30

TEL 03-3426-0071

当教会は、エホバの証人、モルモン教、統一協会とは一切関係ありません。